

第3回 吹田市特殊詐欺集中対策本部会議概要

日時：令和5年12月21日（木） 午後4時から午後5時30分まで
場所：吹田市役所 高層棟3階 災害対応オペレーションルームほか
出席者：別紙「第3回吹田市特殊詐欺集中対策本部会議 出席者一覧」のとおり

議題1：本市特殊詐欺被害の状況（資料1）

議題2：特殊詐欺啓発・警戒スペシャルデー（11月、12月）の実施報告（資料2）

議題3：特殊詐欺被害防止に資する取組状況（資料3,4,5）

議題4：防犯機能付電話機設置プロジェクトの報告（資料6）

資料1	本市特殊詐欺被害の状況について
資料2	特殊詐欺啓発・警戒スペシャルデー（11月、12月）の実施報告
資料3	特殊詐欺被害防止に資する取組状況一覧
資料4	吹田警察署の取組
資料5-1	特殊詐欺被害防止に資する取組状況一覧【関係機関】
資料5-2	詐欺防止マット・お知らせ活動提案
資料6-1	防犯機能付電話機設置プロジェクトの報告
資料6-2	防犯機能付電話機設置促進にかかる連絡票

【議題1及び2について】

資料1及び2に基づいて事務局から説明。

特殊詐欺被害の件数は高止まりの状態。特に、還付金詐欺がなかなか減らない。

【議題3について】

資料3に基づいて、事務局から説明。

資料4に基づいて、吹田警察署生活安全課長から説明。

資料5-1及び5-2に基づいて、関係機関から説明・報告。

（池田泉州銀行 江坂支店）

（株）ダスキン様とのコラボで注意喚起のマットを無人のATMに設置予定（資料5-2参照）。来年1月から市内店舗で設置予定。これからもお客様のお困りごとに積極的に関与していきたい。

（ダスキン 近畿地域本部）

2006年から啓発マット作成事業を始めており、特殊詐欺対策マットを作成してきた。「ダスキンレスキュー」という事業の中で各市町村にて特殊詐欺等の防犯セミナーを実施してきた。

昨年、吹田市と豊中市の三者で防犯協定を結んだが、特殊詐欺の被害は豊中市1位、吹田市2位という状況を見て何とかできればという思いである。その中で大阪府警と協力し、ダスキンレスキュー事業の中で、啓発チラシを配布している。

江坂企業協議会がきっかけで池田泉州銀行様と繋がっており、今回のマット作成になった。店舗に入ってきた高齢者がこれを見て、啓発のきっかけになればと思っている。

その他、家庭用レンタル事業で16万人の顧客がいるが、こちらにも特殊詐欺啓発のチラシを配布して協力していきたい。

(みずほ銀行 江坂支店)

以前より一定の条件で限度額の引き下げを実施していたが、先月より、そこに加えて高齢者の ATM の取引を制限し、店頭での対応をメインとすることとした。直接、取引理由を確認し、窓口で詐欺の未然防止をはかる。他にも様々取り組んでおり、現場から声を出していくことで当行の本部にも提案していきたいと思っている。

(三井住友銀行 吹田支店)

ATM、ネットバンキングでモニタリングを実施している。詳しくは申し上げられないが、そこで検知されれば、取引を停止する。

(りそな銀行 吹田支店)

全国的に特殊詐欺の被害が増加していることから、被害検知のモニタリングを実施しており、そこで検知された取引については、被害にあっていることをお客様に連絡し、あわせて警察や振り込み先の銀行にも情報を共有する取組を実施している。

(日本郵便 吹田郵便局)

吹田市内に OB 職員が 150 名ほどいる。その方々に注意喚起を行うとともに、38 か所、無人 3 か所の計 41 か所の時間外、土日祝の ATM を回っていただき、警戒を実施し、11 月には全箇所を啓発した。お客様の反応も良く、引き続き吹田市民を守るべく、活動を実施していきたい。

【議題 4 について】

資料 6-1 及び 6-2 に基づいて事務局及び市民部から説明。

防犯機能付き電話機の設置促進はアクションプランの 4 つの柱の一つ。特に多い還付金詐欺の入口は固定電話であり、集中対策本部が終わってからも取組みを継続していきたい。

電話機設置の補助申請状況は、12 月 20 日時点で 493 件。社会福祉協議会の協力もあり、地域のいきいきサロンなどに出向き、約 2000 名の方々に直接啓発を実施できた。今後は新年会等の地域活動の中で啓発を実施していきたい。さらに、資料 6-2 の連絡票を使い、設置希望の方の情報を収集し、さらなる設置を推進していきたい。

(アドバイザー：大阪府警察本部 府民安全対策課)

市と警察、各事業者が連携して取り組んでいることを改めて強く感じた。府警察本部から各警察署に、この事例を持って連携を声掛けしているが、なかなかここまでの連携は難しい。

大阪府では、去年は 1～3 月で発生が非常に多く、全国ワースト 1 位となってしまった。最近、ワースト 1 位は脱したが、今年の年始にたくさん被害が発生したことも踏まえ、油断することなく啓発を進めていただきたい。

大阪府警や警視庁からもコンビニ協会へ働きかけを行っている。特に電子マネーの設置場所についての協力依頼がメインだが、各事業者で設置場所の契約がある中で難しいとのこと。しかし、その中でも、各店舗で取り組んでいただいていることは本当に素晴らしいと感じる。

電話対策も 493 件の実績も素晴らしいと感じる。大阪府警も力をいれているが、この対策が一番効果があると考えており、その中で皆様の御協力をいただき設置が進んでいる。関係機関の皆様も是非、周辺の方に広めていただけるよう、協力をお願いしたい。

本部長（吹田市長）指示事項

- 年末に向けて被害が多くなる傾向があり、キャンペーンで啓発・警戒を強化してきたことは意味があったと思う。年始は被害が減るというデータがあるが、気を緩めることなくしっかり啓発を行っていくこと。
- 市内の金融機関がそれぞれに実効性の高い取組みを実行してくれていることに感謝しているが、金融機関ごとの特殊詐欺対策の一覧を作成し、然るべき時期に公開を予定している。他行の取組みを参考に、さらなる制限等を検討してほしい。
- 市内で月平均 10 名の被害が起きている状況で、防犯機能付き電話機の設置促進はマンパワーによる地道な取組みになるが、確実に効果が出てくる取組みである。引き続き声掛けを継続していくこと。
- 今月末で集中対策本部は終了するが、今後も活動は続けていく。活動内容は日々変わっていくため、諦めることなく続けていくこと。

副本部長（吹田警察署長）指示事項

- コンビニでプリペイドカード購入を勧めるサポート詐欺については多く被害が出ているが、市内のコンビニで店員が購入希望の高齢者の詐欺被害を看破し、未然に防いだ事例が複数あった。店舗により温度差はあるが、警察の担当をつけることで、熱意が店長にも伝わり防犯が進むという活動をしてきているため、今後も練度をあげていただきたい。
- 普段から A T M で振込みをしている人も還付金詐欺の被害に遭っているため、一定条件での利用制限は効果が薄い。一律に一日の振込上限額を下げるのが最も効果的であり、それをマスコミ等を通じて対外的にアナウンスしていくこと。
- 高齢者の電話対策について、継続が一番重要である。吹田市の 65 歳以上の数は約 9 万人・6 万世帯。全体の 3 割ほどに防犯機能付き電話機が設置できれば、効果は出てくると考える。地道に実施していきたい。